

# 地域のもりから学ぶ森林づくり 2014

## 「森林の生物多様性を学ぶ」 第三回森林教室

第3回森林教室は、7月9日（水）、定山溪中学校の生徒を対象に石狩森林管理署管内国有林2016林班で実施しました。

今回は、『定山溪のもりを歩く・もりを学ぶ～無意根山周辺植物群落保護林・緑の回廊観察会～』をテーマに、無意根山周辺植物群落保護林を歩いて、生物多様性や森林の歴史について学び、理解を深めることを目的に開催しました。



駐車場で開会式を行った後、北海道大学総合博物館資料部研究員の春木雅寛氏による定山溪の自然と植生等についての説明を受けながら無意根山登山口まで移動します。登山口では小休憩の後、ふれあいセンター職員から植物群落保護林と緑の回廊についての説明を受け、その後、無意根尻小屋を目指して登山を開始し、春木氏から、樹種の説明や標高差による植生の違い等について解説を受けました。



約1時間かけて大蛇ヶ原湿原に到着。ここでは、湿原の生成過程やモウセンゴケなどの湿原に生育する植物の話を皆さん真剣に聞いていました。

無意根尻小屋で昼食をった後、天候の崩れが予想されたことから予定を早めて下山、無事駐車場に到着後、閉会式を行いました。

閉会式では春木氏とボランティア参加の地元定山溪の方から感想をいただき、生徒代表がお礼の言葉を述べ、森林教室を終了しました。生徒たちにとって、地元の自然や森林について学ぶ良い機会になったことでしょう。

政令指定都市である札幌市の中心部からわずかな距離の定山溪に貴重な保護林があることを誇りに思うとともに、しっかりと守っていきましょう。



今後の日程

○9月24日（水）

第4回森林教室

環境保全、緑化活動など